



2023年4月14日

各 位

会 社 名 NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 齋藤 充  
(コード番号 9147 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 長谷川 浩  
(TEL. 03-5801-1000)

### 重量品建設事業の分社化に関する検討開始のお知らせ

当社は、本日の取締役会において、子会社である日本通運株式会社が運営する重量品建設事業の分社化に関する検討を開始することについて決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 検討開始の経緯

日本通運株式会社の重量品建設事業は、数多くの特殊車両・機材を有し、高い技術力・マネジメント力で、重量物の運搬・架設・設置までを一貫して行っており、戦後復興・高度成長期からグローバル化の現在に至るまで、また日本のみならず世界各地で、様々な業界のお客様が実施するインフラ整備事業を支えてまいりました。

市場環境としては、従来の社会・産業インフラに関する需要が継続する中、地球温暖化の社会課題に対するグローバルでの脱炭素化・クリーンエネルギーシフトに伴い、特にエネルギー分野での需要増加が見込まれており、事業の成長余地が高い一方で、計画や施工において高い専門性や技術開発力がこれまで以上に求められます。また、建設業に関わる人財獲得競争も激化する状況にあります。

そのような環境下において、重量品建設事業を持続的に発展させるためには、当該領域に特化した専門会社を設立し、高い技術力と使命感を有する人財を核とした専門家集団が、変化するお客様のニーズにタイムリーかつ絶え間なく応えていくことが不可欠であると判断いたしましたので、重量品建設事業の分社化を検討することといたしました。

##### 2. 目的

当社グループは、2022年1月に持株会社体制へ移行し、グループ経営の強化とグループ各事業の高度化を推進しております。今回の分社化もその一環として、グループ全体最適での役割を果たす事業会社となるべく、以下の目的にて検討してまいります。

- A. 専門領域における事業会社としての役割と責任の明確化
- B. 時代の変化・お客様の要望に応じた専門性・人財の強化と事業規模の拡大

##### 3. その他

今後の検討の結果、分社化を実施する場合は、時期、方法等について、改めてお知らせいたします。

以 上